

質問
70代の姉についての相談です。去年の健康診断後の精密検査の結果、大腸がんを診断を受けました。外来通院で抗がん剤治療ができるか聞きましたが、どのように外来で治療するのですか。自宅で気を付けることはありますか。

外来通院での抗がん剤治療



岡本 恵

徳島大学病院
がん化学療法
看護認定看護師

回答
には、飲み薬、

注射、点滴の方法があります。使用する薬剤や投与方法によっては入院が必要な場合もあります。近年は副作用症状を和らげる薬の開発や、抗がん剤の進歩により、初回から外来で治療を行う場合があります。点滴によるがん薬物療法も外来でできるものが多くなっています。外来通院で治療を行うメリットは、自宅など住み慣れた場所から通えることです。普段の生活を維持しながら日常生活に治療を組み込む形なので、仕事や社会生活を続けながらの治療が可能です。

次に、当院での外来点滴治療の流れを説明します。まず、主治医から治療の方法、使用する薬剤の効果や副作用、スケジュール、治療の期間など

生活維持し投薬や点滴



について説明がありません。治療当口は採血などの事前検査や医師の診察を受けます。

治療を受けることが可能な状態であると医師が判断すれば、外来化学療法室で点滴治療を受けることになります。治療は

がん何でもクイズ
手術や化学療法などのさまざまな治療法を組み合わせたがんの治療方法を何と呼ぶでしょう。

①対症療法②免疫療法③集学的治療
行こうよ！がん検診

リクライニングできるすに座り、楽な姿勢で受けられます。

治療中は持ち込んだ物を飲食したり、備え付け



徳島大学病院の外来化学療法室

療養日誌で変化を予測

のテレビを見たりもできます。点滴中は安全に治療ができるよう薬剤師や看護師が投与管理を行います。治療方法によって異なりますが、点滴時間は1〜6時間程度です。治療が終われば帰宅できます。

外来通院は日常生活を維持しながら治療ができますが、いつも医師や看護師がそばにいるわけではないので不安に思うことがあるかもしれません。病院に連絡が必要な症状や程度を確認し、連絡先を聞いておきましょう。また、体調管理の記録のために、療養日誌をつけるのもいいでしょう。体調管理を「見える化」することで、後から振り返ることができま

す。また、がん薬物療法に関連した、繰り返し体調の変化を予測できることがあります。

外来通院でがん治療を受ける場合に、分からないことや不安があれば、医師や薬剤師、看護師に気軽に相談してください。(第4土曜掲載)

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088 (634) 6442
(平日午前8時半から午後5時まで)